2025年度（令和7年度）

愛 知 学 泉 大 学

３ 年 次 学 内 編 入 学 試 験

学 生 募 集 要 項

家 政 学 部

ライフスタイル学科
管理栄養学科
こどもの生活学科

建学の精神・ 教育目標

目的

目的は、「建学の精神」の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである。

建学の精神

宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として自立しつつありとあらゆる生命体と共生することによって、生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となること。

教育目標

教育目標は、社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能、②職業に関する専門的知識・技能、③建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けて、地域及び国際社会に貢献する社会人を育成することである。

教育方針

「智・徳・体・感・行」に基づいた 3 つの挑戦プログラムから構成される自学・共学システムを開発し、これに基づいて教育を行う。

家政学部教育目標

「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成する。

各学科の教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについては巻末をご確認ください。

募集人員／めざせる免許･資格

学部	学科	募集人員（男女）	めざせる免許・資格
家政学部	ライフスタイル学科	若干名	中学校教諭一種免許状（家庭） 高等学校教諭一種免許状（家庭） フードスペシャリスト スポーツインストラクター 商品プランナー 商品装飾展示士 色彩検定 図書館司書※愛知学泉短期大学の科目履修
	管理栄養学科	若干名	管理栄養士国家試験受験資格 栄養教諭一種免許状 健康運動実践指導者 NR サプリメントアドバイザー 商品プランナー ※栄養士は取得できません。
	こどもの生活学科	若干名	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状 スポーツインストラクター 色彩検定 熱中症対策アンバサダー ※保育士は取得できません。

※栄養教諭一種免許状取得希望者は、所属学科長を通じ事前に学生募集室へご相談ください。

出願資格

1．愛知学泉大学（2 年次修了以上)、愛知学泉短期大学卒業者、および愛知学泉短期大学を 2024 年度（2025 年 3 月）卒業見込者。
2．管理栄養学科への出願は、栄養士免許取得者または取得見込者に限る。
3．こどもの生活学科への出願は、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得者及び取得見込者に限る。

選抜方法

書類審査（推薦書、志望理由書、成績証明書）・面接による総合判定

※出願書類は P5 をご確認ください。

入試日程

	出願・書類送付期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
前期	2024 年 10 月 20 日（日）～ 2024 年 11 月 1 日（金） 消印有効	2024 年 11 月 9 日（土）	2024 年 12 月 1 日（日）	2025 年 3 月 21 日（金） ※一括納入
後期	2025 年 1 月 6 日（月）～ 2025 年 1 月 20 日（月） 消印有効	2025 年 1 月 27 日（月）	2025年 2 月 5 日（水）	

※出願は「インターネット出願」となります。愛知学泉大学ホームページ「入試情報」より手続きを行ってください。

試験場

岡崎キャンパス

試験時間割

	開　場	着席完了	面　接
前期	12:00～	12:50	13:00～
後期	9:00～	9:50	10:00～

インターネット出願について

STEP 1 事前準備

①出願登録環境

インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォンまたはタブレットおよび、用意した機器から接続できるプリンター。プリンターが自宅にない場合、コンビニエンスストア（以下、「コンビニ」。）のマルチコピー機でも印刷が可能です。

また、インターネットの環境がない場合は、学生募集室までご連絡ください。

学生募集室　℡ 0564-34-1215（直通）

平日 9：00～18：00　（土・日・祝は対応不可）

②出願サイトに登録する「メールアドレス」および「顔写真（データ）」

・普段から連絡の取りやすいメールアドレス

登録したメールアドレスには、本学から「登録完了」の通知が送信されます。

送信を受け取れるようにメール受信設定を行ってください。

・試験時の本人確認に使う顔写真データ

「顔写真」（データ）は 3 ヵ月以内に撮影した上半身・正面・無帽・背景なしのもの。フチがなく、カラー写真であること。

③「郵送用封筒」

・郵送用封筒は市販の「角２」サイズのものを用意してください。

STEP ２ 出願サイトにアクセス

本学ホームページ「入試情報」から「Net 出願」へアクセスしてください。

STEP ３ マイページをつくる　※出願時に登録することも可能です。

①メールアドレスを登録

・登録したいメールアドレスを画面の指示に従って入力して送信します。送られてきたメールのリンクから登録ページへ移動してください。

・登録には本人確認用パスワードが必要です。忘れないパスワードを用意してください。受験票などを印刷する際に必要になります。

②顔写真データおよび基本情報を登録

マイページにログイン後、顔写真データおよび基本情報（氏名、生年月日、出身校等）の事前登録してください。

STEP ４ 出願内容を入力

①志望内容を入力

受験する入試種別、志望する学科、試験会場を画面に沿って選択してください。

②個人情報を入力

基本情報のほか画面に表示される項目を入力してください。顔写真と基本情報を登録済みの場合、その情報が表示されます。入試結果をお知らせする住所・氏名は正確に入力・確認してください。表示された情報を修正・変更することができます。

③出願内容を確認

ここまで入力した内容を確認します。入学検定料支払い後は入力したデータの変更はできません。

間違いの無いよう十分確認してください。

STEP ５ 入学検定料の支払い

入学検定料　　３５，０００円

振込まれた入学検定料は、いかなる理由でも返還することはできません。

①支払い方法を選択

入学検定料の支払いは以下のいずれかで行ってください。

クレジットカード、コンビニ、ペイジー（金融機関 ATM ／ネットバンキング）

※ 支払いには入学検定料のほか別途支払手数料が必要です。支払い方法によって手数料が異なりますので、入学検定料と合わせて支払い金額を確認してください。

②入学検定料を支払う

「クレジットカード」で支払う

支払い方法を選択する画面で必要な情報を入力して決済してください。出願登録完了時に同時に決済されます。

「コンビニ」で支払う

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択したコンビニで支払いをしてください。

「ペイジー（金融機関ＡＴＭ／ネットバンキング）」で支払う

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択した方法で支払いをしてください。

コンビニまたはペイジーを選択した場合、支払い期限はお申込み後翌々日の 23：59 までとなります。

なお出願期間最終日は当日の 23：59 までとなります。支払い期限までに支払いを済ませてください。

支払い期限を過ぎてしまった場合は、再度出願登録をやり直してください。
クレジットカード・ネットバンキングでお支払いされる場合の名義人は受験生本人でなくても構いません。
支払い完了後、支払完了を通知するメールが届きます。内容を必ず確認してください。

STEP ６ 出願内容を登録

入力した出願内容および支払い方法を確認し、登録ボタンを押して出願内容を登録します。同時に「出願登録完了メール」が送信されます。入学検定料の支払い方法がコンビニまたはペイジーの場合、「お支払番号」等が出願登録完了画面および申込完了メールに表示されます。

STEP ７ 出願書類を郵送

①志願票・宛名ラベルを印刷

入学検定料の支払い完了後、マイページから「入学志願票・宛名ラベル」を取得して印刷してください。
自宅にプリンターがない場合は、コンビニでも印刷することができます。
その場合は、マイページにて
志願票をプリント予約する　→　「店舗選択画面」で印刷するコンビニを選択　→
利用規約に同意にチェック　→　プリント予約する書類の選択　→　予約完了画面「プリント予約番号」
→　控えた番号を予約したコンビニ店舗の端末に入力　→　印刷
の手順で行ってください。

②出願書類を郵送

事前に用意した角２封筒にＡ４サイズで印刷した宛名ラベルをしっかりと貼付してください。
必要書類を同封・封緘して必ず速達・簡易書留で郵便局窓口から発送してください。提出書類に不備・不足があった場合は受け付けない場合もあります。提出前に必ず確認してください。
また、提出書類の提出期限は、出願期間最終日の消印有効で受付いたします。期日に間に合うように、郵送または岡崎キャンパスまで持参してください。持参する場合は 18 時まで学生募集室にて受付いたします（土・日・祝は対応不可）。

出願書類

下記の出願書類を準備の上、期日までに所属学科長を通じ、学生募集室に提出してください。
（既卒者を除く）

１．入学志願票
２．卒業（見込）証明書
３．成績証明書
４．編入学志望理由書（本学ホームページよりダウンロードしてください）
５．推薦書（任意様式。所属学科長より）※既卒者は必要ありません。

STEP ８ 受験票を印刷

出願書類が受理されると、受験票が発行された旨がメールおよびマイページに通知されます。
マイページから「受験票」を取得して印刷してください。
自宅にプリンターがない場合は、STEP ７①の志願票の印刷と同様の手続きを行い、コンビニで印刷してください。
受験票の記載内容（受験番号、志望学科、試験会場など）を必ず確認してください。
試験当日は印刷した受験票を必ず持参してください。
受験票は本学から郵送しません。

試験当日の注意事項

１．受験票は各自で印刷し、試験当日必ず持参してください。
２．試験開始 10 分前には着席を完了してください。
３．試験開始 20 分を経過した後、試験室への入室は認めません。係員の指示に従ってください。
４．スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末等を所有している受験生は試験室に入る前にアラームの設定を解除（アラームは設定を解除しないと、電源を切っても鳴り出すことがあるので注意してください）し、必ず電源を切ってかばん等に入れてください。また、マナーモードに設定している場合でも、必ず電源を切ってください。

合格発表について

１．合格発表日に WEB にて試験結果を公開します。WEB による確認方法は下記を参照してください。
２．合格者に対して、合格通知書及び入学手続書類などを郵送します。
３．不合格者には、通知書等の送付は行いません。
４．電話等による合否の問い合わせには一切応じません。
５．愛知学泉短期大学長ならびに学科長へも通知します。

[合格発表照会方法]
１．パソコン・スマートフォンで合否照会ページにアクセス
　下記 URL を入力するか、QR コードで読み取りしてください。

https://go-pass.net/mche/gakusen/

２．受験番号（6 桁）と誕生月日（4 桁）を入力
３．入試結果画面にて合否が表示されます。
※合否照会サービスの利用期間：合格発表日から 7 日間
（注意事項）
・利用期間は試験ごとに定めてあり、期間外には見ることはできません。
・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
・パソコン・スマートフォンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
・パソコン・スマートフォンのブラウザの設定によっては、画面のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

入学手続き

１．合格者は送付された入学手続き関係書類をよく読み、入学手続きを完了してください。
２．期限までに入学手続きを完了していない場合は、「入学辞退」と判断し入学が許可されません。
３．入学手続完了者のうち、2025 年 3 月 31 日（月）正午までに「入学辞退」を申し出た場合は、納入費用を返還いたします。

[納入期限]
入学に必要な費用の納入期限は次の通りです。納入には本学所定の用紙を用い、必ず「電信扱い」で振り込んでください。

学科	金　額	納　入　期　限
ライフスタイル学科	６００，９３０円	２０２５年3月２１日（金） ※一括納入
管　理　栄　養　学　科	６２５，９３０円	
こどもの生活学科	６１０，９３０円	

学費等

内訳＼学科		ライフスタイル学科		管理栄養学科		こどもの生活学科	
		前期納付金額	後期納付金額	前期納付金額	後期納付金額	前期納付金額	後期納付金額
学納金	入　学　金	(免除)	—	(免除)	—	(免除)	—
	授　業　料	365,000 円	365,000 円	365,000 円	365,000 円	365,000 円	365,000 円
	教育充実費	195,000 円	195,000 円	195,000 円	195,000 円	195,000 円	195,000 円
	実験実習費	30,000 円		55,000 円			
	実　習　費					40,000 円	
委託徴収費	学生会費	8,500 円		8,500 円		8,500 円	
	学生教育研究災害保険	1,750 円		1,750 円		1,750 円	
	学生教育研究賠償責任保険	680 円		680 円		680 円	
	合　計	600,930 円	560,000 円	625,930 円	560,000 円	610,930 円	560,000 円

(1)　前期納付金は、入学手続き時に納入してください。
(2)　後期納付金の納入期限は 2025 年 10 月上旬です。
(3)　諸会費（教育後援会費、後援会会費）については、入学後にご案内させていただきます。

学費以外に入学後必要な費用等

下記の資格・免許の取得を希望する者は、別途課程履修費・資格取得申請料などが必要となります。

学科	取得資格・免許等
ライフスタイル学科	中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）スポーツインストラクター、商品プランナー、商品装飾展示士、色彩検定、図書館司書※愛知学泉短期大学の科目履修
管理栄養学科	管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭一種免許状、健康運動実践指導者、NR・サプリメントアドバイザー、商品プランナー
こどもの生活学科	スポーツインストラクター、色彩検定、おもちゃインストラクター

愛知学泉大学　家政学部
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）は以下のとおりである。

愛知学泉大学

⑴ 本学の教育目標と教育方針の下、「真心･努力･奉仕･感謝」の四大精神を実践している。
⑵ 社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
⑶ 社会的に自立して生きていく上で必要な職業に関する専門的知識･技能を身に付けている。
⑷ 社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑸ 地域及び・国際社会に貢献する社会人としての素養を身に付けている。

愛知学泉大学家政学部

⑴ 本学の教育目標と教育方針の下、「真心･努力･奉仕･感謝」の四大精神を実践している。
⑵ 社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
⑶ 社会的に自立して生きていく上で必要な家政に関する専門的知識･技能を身に付けている。
⑷ 社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑸ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

ライフスタイル学科

○教育目標

ライフスタイル学科の教育目標は、家政学部の教育目標の下、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成することである。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

⑴ 本学の教育目標と教育方針の下に、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践している。
⑵ 社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
⑶ ライフスタイルのデザインに不可欠な専門的知識・技能を身に付けている。
⑷ 人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる。
⑸ 社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑹ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

（A）カリキュラムの編成について

（A-1）カリキュラム編成の基本方針について

ライフスタイル学科のカリキュラムは、共通科目と専門科目から構成されます。
すべての科目において、グループワークの機会を設定しています。
そして、地域と連携した内容の授業科目を各年次に配置することによって、社会人基礎力・pisa 型学力を育成していきます。
授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。
共通科目は、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部共通科目として編成しています。
共通科目の卒業要件は24単位以上取得することです。
専門科目は、これからの時代の新しいライフスタイルを創造しうる能力を持った生活者および衣・食・住および地域活性のエキスパートを育成するための科目として編成します。また、「中学校、高等学校の教諭（家庭）」の資格も取得可能です。
専門科目の卒業要件は96単位以上を取得することです。

（A-2）教養教育プログラムについて

教養教育とは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。
これらの科目は家政学部の共通科目と位置づけ、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野で編成しています。
①「教養分野」では、自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。
②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的知識・技能を学修する。
③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識･技能を学修する。

（A-3）専門教育プログラムについて

専門教育プログラムは、「ライフスタイル学科基幹科目群」を基軸に「デザイン（空間･情報の分野）」「食品開発・マネジメントの分野」「ビジネス・地域活性の分野」の3分野で編成されています。
これらの専門科目群により、生活に関する専門的知識・技能を獲得し、それを活用しながら、自らを含む地域社会の課題を解決する方策を実践的に学修します。
①「ライフスタイル学基幹科目群」について
この科目群では、生活に対する基本的視座を涵養するためにライフスタイル学基礎講座と国内研修旅行を、生活に関する基礎的知識を獲得するために、衣・食・住の各領域の概論（衣生活論･食生活論･住生活論）を必修科目として置く。また、4年間の学修の集大成となる卒業研究もこれに含む。
②「デザイン（空間・情報の分野）」について
この分野では、身体の近接環境である衣服やインテリアおよび情報環境をデザインするために必要な知識・技能を学修する。
③「食品開発・マネジメントの分野」について
この分野では、食品開発に必要な食文化、食品、栄養、調理に関する知識・技能を学修する。
④「ビジネス・地域活性の分野」について
この分野では、地域の問題を収集、分析、整理して課題解決の提案をするために必要な知識・技能を学修する。
⑤ 各分野には、学修内容をより実践的に応用し、新しいライフスタイルをデザインするための素地を養うために PBL 型の科目「スタジオ A（空間･情報･デザイン）、B（食開発）、C（地域活性）を置く。

（A-4）初年次教育プログラムについて

初年次教育として、「ライフスタイル学演習Ⅰ、Ⅱ」「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」及び「未来へつなぐアウトリーチ」を配置しています。
「ライフスタイル学演習Ⅰ、Ⅱ」では、リテラシー能力」の向上に焦点を当て、教育目標の基盤を育成しています。
「未来へつなぐアウトリーチⅠ」では、PDCA（P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正）サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指します。
これらの科目では、他者との関わりを重視しながら以下の能力を育成していきます。
① 生活における他者との関わりの重要性を知る。
②「見た」･「聞いた」･「読んだ」内容を論理的に表現する力を育成する。
③ 地域社会の課題を発見し、他者と協調し、その課題解決に取り組むことができる人間となるための基礎的な力を育成する。

（A-5）キャリア教育プログラムについて

卒業後の進路を保障するために、以下の3点に焦点を当てたインターンシップの実施と就職支援プログラムとして「インターンシップ論、インターンシップ、キャリアデザイン講座」を配置しています。
① インターンシップを通して、仕事の現場を体験的に確認し、組織の一員としての使命感、責任感を育成します。
② 適性検査、自己分析を行い、自分に合った進路の選択を考える能力を育成します。
③ 様々な業種・職種で活躍する社会人及び先輩の講話を聴き、自分の能力を社会貢献につなげていくための能力の適格性、開発方法、心構えなどを育成します。
なお、中学校、高等学校教諭を目指す学生に対しては教職課程委員会と連携して「教員採用試験対策講座」を開設しています。

（A-6）リメディアル教育プログラムについて

入学時にスクリーニングテストを行い、学力が不足していると判断された学生に対しては補習を実施します。
公開講座「日本語を磨く、自分を磨く」において、日本語表現の基礎を学び直します。

（A-7）教職課程教育プログラムについて

教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、中学校、高等学校の教諭（家庭）免許が取得できるカリキュラムを編成しています。
授業方法は、以下の3点に焦点を当てて、講義に加え事例研究・模擬授業・集団討議を行います。
① 教育課程、指導法について学びながら、学校における教育の意義や中学校、高等学校教諭の職務内容を理解する。
② 模擬授業を通して、教育指導の実践能力を養う。
③ 教育実習を通して、指導の重要性を体験的に確認し、中学校、高等学校の教諭としての使命感、責任感を養う。

（B）カリキュラムの実施について

チームティーチング形式の授業を初年次から配置しています。複数の教員が関わることにより、ライフスタイル学科の特徴的な学修への動機づけ・学修方法の理解、社会人基礎力の必要性を理解してもらいます。また、体験型学修の核となる学生間の人間関係の形成も視野に入れて授業を行います。
① 体験型学修として PBL 型のスタジオ学修を用意する。このスタジオ学修は、学生が「無限の可能性」に挑戦する絶好の機会となる。
② スタジオ学修では、年度ごとに設定するテーマの下で、教員と学生が小グループを組織し、家政学の専門的知識・技能を活用して、創造的作業を通して考えたことを目に見える形にして提案する能力を育成する。
この学修の過程では、学生個々の潜在能力を最大限引き出していくために社会人基礎力と pisa 型学力の発揮が必須となる。
③ スタジオ学修で見出した自分の能力を進路実現に結びつけるために、「キャリアデザイン講座」を配置する。この科目を通して、職業に対する意識と職場への適応能力、社会人としての自覚を深める。
④ クラス指導教授は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
⑤ 学修成果の評価は、学期末テストにとどまることなく、レポートや小テストなどで定期的に理解度・習熟度の確認を行う。
⑥ ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行う。ルーブリックはディプロマ･ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

（C）資格対応について

取得可能な資格は以下のとおりです。

① 中学校教諭一種免許状（家庭）	② 高等学校教諭一種免許状（家庭）
③ フードスペシャリスト	④ 商品プランナー
⑤ スポーツインストラクター	⑥ 商品装飾展示士3級

○アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ライフスタイル学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。
⑴ 暮らしに関わる様々な事象に強い関心を抱いている。
⑵ より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者として社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑶ 衣・食・住のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑷ 地域活性のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑸ 中学・高校の家庭科教員として主体的に学び続ける生徒を育成したいという意欲を持っている。
そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

（A）学力の3要素

（A-1）基礎的・基本的な知識・技能について

家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。

（A-2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①（思考力）
日常の生活の中から問題を発見し、その問題の原因を分析することができる。
②（判断力）
他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。

③（表現力）
適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
（A-3）主体的に学習に取り組む態度について
粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。
（B）行動特性について
①（前に踏み出す力）
主　体　性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。
実　行　力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。
②（考え抜く力）
課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。
創　造　力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。
③（チームで働く力）
発　信　力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。
傾　聴　力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。
規　律　性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

管理栄養学科

○教育目標

管理栄養学科の教育目標は、家政学部の教育目標の下、管理栄養士の資格を生かして、チーム医療、健康増進･疾病予防、食育･栄養指導又は健康をテーマにした食品の研究･開発等で活躍することによって、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成することである。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

⑴ 本学の教育目標と教育方針の下に、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践している。
⑵ 社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
⑶ 管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能を身に付けている。
⑷ 人々の日常生活を健康の面から支援することができる。
⑸ 社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑹ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

（A）カリキュラムの編成について
（A-1）カリキュラム編成の基本方針について
管理栄養学科の教育課程は、共通科目と専門科目から構成されます。
授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。
共通科目は、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部共通科目として編成しています。
共通科目の卒業要件は24単位以上取得することです。
専門科目は、管理栄養士の資格を生かした「疾病治療･重症化予防」、「疾病予防」、「食育・食環境の整備」等、管理栄養士の資格を生かした各分野で活躍する人材の育成を目的としたカリキュラムを編成しています。また、「栄養教諭」の資格も取得可能です。
専門科目の卒業要件は84単位以上取得することです。なお、厚生労働省の定める管理栄養士養成施設であるので、法令に適合したカリキュラムとなっています。
（A-2）教養教育プログラムについて
教養教育とは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。
これらの科目は、共通科目と位置づけて、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野で編成しています。
①「教養分野」では家政学・自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。
②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的知識・技能を学修する。
③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識･技能を学修する。
（A-3）専門教育プログラムについて
管理栄養学科の専門教育は、専門分野の基礎となるものを専門基礎分野、応用となるものを専門分野に配置し、段階的に理解できるように授業を展開します。
（専門基礎分野）
① 栄養学を学修するために必要な基礎的な専門知識を修得するために、生物学入門、化学入門、化学基礎実験、栄養英語を置く。
② 社会的課題としての保健・医療・福祉等についての基礎知識並びに環境因子、社会的諸制度としての衛生行政･衛生法規･地域保健対策等について理解するために、公衆衛生学に関する必修科目を置く。
③ 人体の構造や機能を体系的に理解した上で、主要疾患の成因・病態・診断、治療等について理解を深めるために、解剖・生理学・生化学・臨床医学に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。
④ 食品の化学成分の構造・性質、物性等の基礎知識及び調理・加工による変化、栄養性・嗜好性の高い食物を調製する技術、食品表示・安全性について学修するために、食品学･調理学･食品衛生学に関する必修科目とともに実験･実習科目を置く。
（専門分野）
① 栄養の基本的概念及びその意義並びにエネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解するために、基礎栄養学に関する必修科目とともに実験科目を置く。
② 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理の基礎を理解するために応用栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
③ 健康・栄養状態・食行動・食環境に関する情報を収集・分析するとともに、それらの総合的評価・判定に基づく栄養教育プログラムを作成する能力を修得するために、栄養教育論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
④ 傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて栄養管理計画の作成・実施・評価に関する総合的マネジメントの考え方を理解するために、臨床栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑤ 地域や職域の健康・栄養問題とそれを取り巻く諸要因を分析するとともに様々な健康・栄養状態の者に対する適切な栄養関連サービスのあり方について理解を深めるために、公衆栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑥ 給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面・安全面・経済面全般についてマネジメントを行う能力を修得するために、給食経営管理論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑦ 各専門分野に関わる知識についてさらに理解を深めるとともに、管理栄養士に必要とされる知識・技能を統合して実践活動の場での課題解決能力を修得するために、「臨床総合演習」･「臨地実習」･「卒業研究」を置く。
⑧ 管理栄養士として卒業後の進路をサポートするための科目（アップグレード分野）を置く。
（A-4）初年次教育プログラムについて
初年次教育として「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」及び「未来へつなぐアウトリーチⅠ」を配置しています。
「未来へつなぐアウトリーチⅠ」では、PDCA（P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正）サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指します。
（A-5）キャリア教育プログラムについて
「課題解決型行動特性」及び「課題解決型学力」の修得、自己成長のためのキャリアビジョンの方向性や目標の明確化のために、「管理栄養士への道」･「基礎キャリア教育」を配置しています。
「管理栄養士への道」では、管理栄養士の職業に対する理解を深め、管理栄養士の行動特性を理解し、自己のビジョンを達成する生涯学習計画を立てる授業を行います。
「基礎キャリア教育」では、各分野で活躍する専門家からの講話を聴く中で、自分の能力を社会貢献につなげていくための能力の適格性、開発方法、心構えなどを学び、望ましい管理栄養士の専門的行動能力（コンピテンシー）を学修し、就職につながる意識を高めます。
さらに、専門実践実習として疾病治療・重症化予防、疾病予防、食育・食環境の3分野の実習科目を設け、これまでに学修した専門的知識・技能を活用して、実践活動に結びつけます。
（A-6）リメディアル教育プログラムについて
読解力、数読理解（計算含む）をリメディアル教育内容として設定しています。これらは、1年次に専門科目を学ぶための導入教育として配置しています。
（A-7）教職課程教育プログラムについて
教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、栄養教諭免許が取得できるカリキュラム（18科目で構成）を編成しています。
授業方法は、以下の3点に焦点を当てて、講義に加え事例研究・模擬授業・グループ討議・ロールプレイング等実践的な学修方法を取り入れます。
① 学校における食育のあり方や栄養教諭の職務内容の理解等栄養教諭に必要な食育基本法や学校給食法等を学修します。
② 食育の模擬授業や肥満・やせ、食物アレルギー等栄養教諭に必要な個別指導の実践能力を育成します。
③ 小学校（中学校）の役割・組織及び栄養教諭の職務内容に関する理解を通して、栄養教諭としての使命感と責任感を育成します。
（B）カリキュラムの実施について
カリキュラムの実施については、下記の通りです。
① 各専門分野の科目においては、管理栄養士に必要な知識・技能を理解するために、講義とそれに関わる実験・実習を行う。
② 課題解決型学力（pisa 型学力）、課題解決型行動特性（社会人基礎力）を発揮する授業を実践する。
③ シラバス上に予習・復習内容及び必要な学修時間（目安）を記載し、授業の内・外での能動的な学修を促す。また、資格取得に向けての課題の提出、資格対策授業等の学修支援を行う。
④ クラス指導教授は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
⑤ 学修成果の評価は、学期末テストにとどまることなく、レポートや小テストなどで定期的に理解度・習熟度の確認を行う。
⑥ ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行います。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。
（C）資格対応について
取得可能な資格は以下のとおりです。
① 管理栄養士国家試験受験資格　② 栄養士免許
③ 栄養教諭一種免許状　④ 食品衛生監視員任用資格
⑤ 食品衛生管理者任用資格　⑥ 健康運動実践指導者認定試験受験資格
⑦ 商品プランナー認定試験受験資格

○アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

管理栄養学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。
⑴ 栄養学に強い関心を抱いている。
⑵ 管理栄養士として「疾病治療」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑶ 管理栄養士として「疾病予防」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑷ 管理栄養士として「食育・食環境の整備」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑸「食」の専門家として、人々の日常生活を健康の面から支援したいという意欲を持っている。
そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。
（A）学力の3要素
（A-1）基礎的・基本的な知識・技能について
家庭、生物・化学、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。
（A-2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
①（思考力）
日常の生活の中から食を取り巻く課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
②（判断力）
他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。
③（表現力）
適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
（A-3）主体的に学習に取り組む態度について
粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

（B）行動特性について
①（前に踏み出す力）
主　体　性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。
実　行　力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。
②（考え抜く力）
課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。
創　造　力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。
③（チームで働く力）
発　信　力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。
傾　聴　力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。
規　律　性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

こどもの生活学科

○教育目標

こどもの生活学科（初等教育教員養成課程）の教育目標は、家政学部の教育目標の下、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、こどもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成することである。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

⑴ 本学の教育目標と教育方針の下に、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践している。
⑵ 社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
⑶ 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付けている。
⑷ 人々の日常生活を子育ての面から支援することができる。
⑸ 社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑹ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

（A）カリキュラムの編成について

（A-1）カリキュラム編成の基本方針について

小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、保育士資格が取得できるように法令等に適合したカリキュラムを編成しています。

カリキュラムは学部共通科目と専門科目から編成しています。授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。また、各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。

学部共通科目は、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部共通科目として編成しています。

専門科目は、教育の意義や理論とともに、各教科教育によって、保育と教育の専門性を高める科目編成になっています。

学部共通科目の卒業要件は24単位以上取得することです。

専門科目は、保育・教育職において必要な専門的な能力を獲得することを目的としたカリキュラム編成をしています。

専門科目の卒業要件は96単位以上を取得することです。

（A-2）教養教育プログラムについて

教養教育とは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。

これらの科目は、学部共通科目と位置づけて、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」「その他」の4分野で編成しています。

①「教養分野」では自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。
②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康についての基礎的知識・技能を学修する。
③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。
④「その他」では、学科の教育目標に必要な特別科目を充て、学科で修得する科目内容を実践的な視点から涵養するための知識・技能を学修する。

（A-3）専門教育プログラムについて

専門教育は、こどもの生活学科の専門科目によって編成されています。

学科の軸である「コア科目」を中心に、「共通領域」、「幼保領域」、「小学校領域」、「実習（学外）領域」、「ライフ開拓領域」の6領域によって構成されています。豊かな人間性の育成とともに、資格取得に必要な専門的知識・技能の修得として、模擬授業などの実践的な体験の機会を組み入れ、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士に応じた以下の専門教育プログラムを用意しています。

① 小学校教諭、幼稚園教諭、保育士としての心構えと専門的知識・技能を身につけ
② 幼稚園教諭としての心構えと専門的知識･技能を身につけるために、保育系の科目、幼児理解や教育経営論等専門科目に加えて教育実習を必修科目として置く。
③ 小学校教諭としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために、教科教育法や教科研究に加えて教育実習を必修科目として置く。

（A-4）初年次教育プログラムについて

初年次教育として、「こども生活学概論」、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」と「未来へつなぐアウトリーチⅠ」を配置しています。

「こども生活学概論」では、子どもを取り巻く現代的な問題や課題に着目し、現代の生活学を子どもの視点から考えます。また「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」では、保育・教育職に対する理解を深めるとともに、学修の前提となる基礎知識、コミュニケーションを円滑にするための集団活動、そして子どもと関わるための心構えを以下の段階で学びます。

① 建学の精神を踏まえた「学びを理解する」ための学修を行う。
② 子どもと関わることを通して言葉や自然について見つめ直すための学修を行う。
③ コミュニケーションの重要性を理解し、主体的な態度を獲得するための学修を行う。
④ 他者と積極的に関わり、グループやクラスで活動をするための学修を行う。
⑤ 系列幼稚園の見学等を通し、子どもと関わるための心構えの学修を行う。

「未来へつなぐアウトリーチⅠ」では、PDCA（P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正）サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指します。

（A-5）キャリア教育プログラムについて

卒業後に小学校教諭、幼稚園教諭、保育士として自立して生きていくための能力を育成し、人生に必要な様々な力を修得するために、以下の2点に焦点を当てたキャリア教育を実施しています。

① 各種の実習（保育実習・教育実習・施設実習・介護等体験実習）とその事前・事後指導を通して、保育・教育職に就くための能力と組織の中で働く責任感や使命感を育成します。
② 保育・教育職の現場で働く社会人や諸先輩の話を聴き、自分がどのような適性を持ち合わせているかを考え、社会に対してどのように貢献していくかを考える力を育成します。

（A-6）リメディアル教育プログラムについて

読解力、数読理解（計算含む）をリメディアル教育内容として設定しています。これらは、1年次に専門科目を学ぶための導入教育として配置しています。

（A-7）教職課程教育プログラムについて

小学校教諭免許を取得するための教科教育カリキュラムを編成し、教育の現場で活躍するための専門的知識・技能を学修します。幼稚園教諭免許を取得するためのカリキュラムも含みます。

授業方法は、講義に加え事例研究や模擬授業、集団討議など行います。

① 教育法規を通して、学校教育の意義・小学校教諭の職務内容を理解する。
② 小学校の組織・職務内容を通して、教諭としての使命感・責任感を養う。
③ 小学校の模擬授業を通して、教育指導の実践能力を養う。
④ 幼稚園の組織・職務内容の理解とともに、実践的な指導能力を養う。

（B）カリキュラムの実施について

小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格が取得可能なカリキュラムを編成し、教育・保育の現場で活躍するための専門的知識・技能を学修します。

カリキュラムは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の学部共通科目と保育職・教育職に関する専門科目から編成されています。

すべての科目において、下記のように学生と教員による双方向的で実践的な学修を行っています。また、保育・教育の現場と触れ合い、体験的に学びの内容を確認するためのいくつかの活動も行います。

① 学生同士、学生と教員とのコミュニケーションを重視する授業（対話型授業）を行う。
② グループワークを取り入れ、発表を重視する授業（協力・協働型授業）を行う。
③ 知的好奇心を刺激し、自ら学ぶ意志を引き出すような授業（啓発型授業）を行う。
④ シラバス上に予習・復習内容および必要な学修時間を記載し、授業内外での能動的な学修を促す。また、資格取得に向けての学修支援を行う。
⑤ クラス指導教授は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
⑥ 学修成果は、学期末テストだけでなく、レポートや小テスト、作品提出、学修発表などによって定期的に理解度・習熟度を確認し評価を行う。
⑦ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行う。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

（C）資格対応について

取得可能な資格は以下のとおりです。

① 小学校教諭一種免許状
② 幼稚園教諭一種免許状
③ 保育士資格

○アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

こどもの生活学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。

⑴ 子どもの生活環境に関して関心を抱いている。
⑵ 保育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑶ 教育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
⑷ 他者との関わりを大切にし、相手の立場に立って考え、行動できる。
⑸ 自身の潜在能力をさらに開発し、地域の課題解決に率先して参画したいと思っている。

そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

（A）学力の3要素

（A-1）基礎的・基本的な知識・技能について

家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。

（A-2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①（思考力）
日常の生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
②（判断力）
他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。
③（表現力）
本学の掲げる四大精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

（A-3）主体的に学習に取り組む態度について

粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

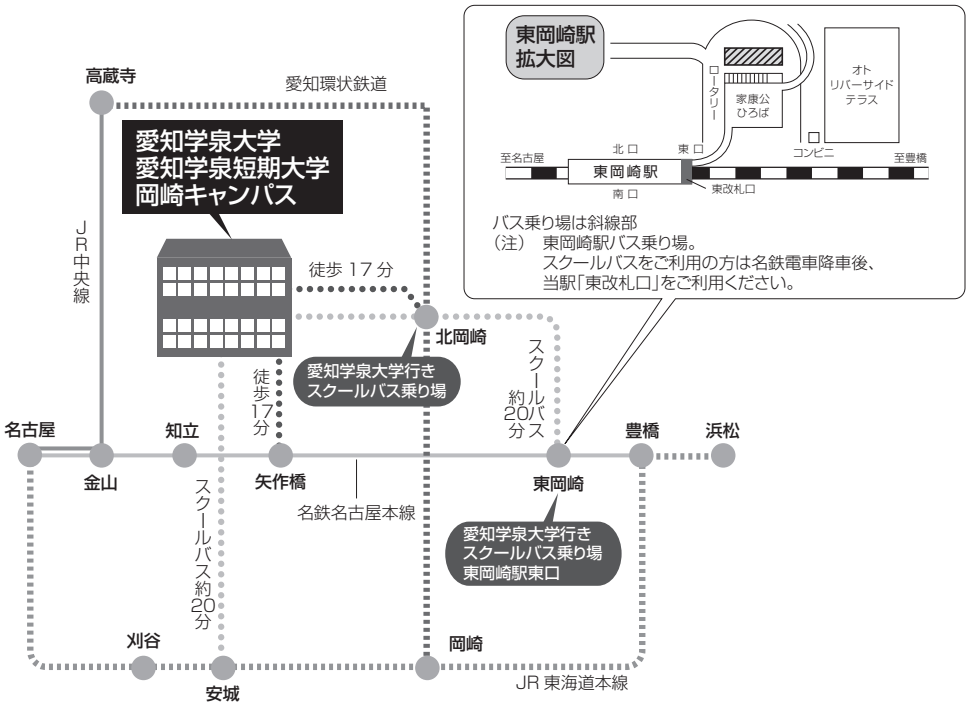
（B）行動特性について

①（前に踏み出す力）
主　体　性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。
実　行　力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。
②（考え抜く力）
課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。
創　造　力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。
③（チームで働く力）
発　信　力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。
傾　聴　力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。
規　律　性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

Access

岡崎キャンパス
【家政学部】

〒444-8520　愛知県岡崎市舳越町上川成28
TEL：0564-34-1212（代表）



［鉄道］名古屋方面から

□名鉄名古屋本線「名鉄名古屋」～「東岡崎」（所要時間約30分）
　駅からスクールバスで約20分
□名鉄名古屋本線「名鉄名古屋」～「矢作橋」（所要時間約37分）
　駅から徒歩で約17分

［鉄道］高蔵寺方面から

□愛知環状鉄道「高蔵寺」～「北岡崎」（所要時間約60分）
　駅からスクールバスで約5分または徒歩で約17分

［鉄道］豊橋方面から

□名鉄名古屋本線「豊橋」～「東岡崎」（所要時間約20分）
　駅からスクールバスで約20分

［スクールバス］乗り場

□名鉄名古屋本線「東岡崎」駅東改札口より
　「家康公ひろば」方面へ。
　スクールバス乗り場
□愛知環状鉄道「北岡崎」駅
　スクールバス乗り場

注意

試験当日は名鉄東岡崎駅（愛環北岡崎駅経由）からの直行バスのみ運行します。JR 安城駅からのスクールバスの運行は行いません。

お問い合わせ

［学生募集室］

TEL 0564-34-1215（直通）FAX 0564-34-1216

E-mail:agu-t@gakusen.ac.jp

LINE 相談
@gakusen_univ

最新情報は、ウェブサイトでチェック！ 学泉 検索
パソコンサイト▶https://www.gakusen.ac.jp/u/
SNSでも情報配信中▶ @GakusenUniv aichi_gakusen_university